

大企業区分

優秀賞

株式会社リコー

※事業者の情報は 2016 年 11 月時点

所在地	東京都中央区銀座 8-13-1
業種	製造業
社員数	(単体)8,169 名 (連結)109,361 名
ウェブサイト	http://www.ricoh.co.jp

環境経営のレベルアップを目指した、 意識、知識、実践を通じたグローバルな環境人材づくり

目的

リコーは地球環境問題に対して企業が果たすべき役割をいち早く認識し、1990 年代から「環境保全」と「利益創出」の同時実現を図る「環境経営」に取り組んできた。長期的な視点に立ってビジョンを描いて設定している高い目標を達成する為には、「意識改革」「知識習得」のみならず、「実践」を通じた人材づくりを行い、「グローバル」に環境経営のレベルをスパイラルアップすることが必要と考えて取り組んでいる。

概要

リコーでは環境行動計画として具体的な活動・目標値を設定し、環境経営の推進を図っている。

環境行動計画は従業員一人ひとりの意識や行動を高めていかないと推進できないとの考えの下、1999 年から日本国内社員の環境ボランティアリーダー養成を開始した。2002 年からは世界のリコーグループ事業所に生物多様性保全に貢献する環境社会貢献活動を環境行動計画として設定、グローバル展開している。

2006 年にリコーグローバルエコアクション（以下 RGEA）をスタートさせ意識啓発活動を強化した。毎年6月をエコアクション月間とし、全世界のリコーグループ社員が一体感をもって意識向上を図る活動として、環境セミナーや生物多様性保全などの活動を実施している。

2014 年に地球環境問題に関する知識を体系的に学び、それぞれの業務・事業に活かすことを目的にエコ検定受験を取り入れ、受験者総数は 1,127 人。

リコーグループの環境人材づくりは主に RGEA での「意識改革」、eco 検定での「知識習得」、環境行動計画に基づいた「実践」で行っている。

特徴・アピールポイント

1. RGEA は全世界11万人の社員に加え、家族・友人、地域、お客様との協働をテーマに「学び」と「実践」を組み合わせた活動を11年にわたり展開している。

また、SNS(Facebook)を通じて情報発信することで世界中の方々に、活動内容を公開し参加を呼びかけている。特にシンガポールでは、シンガポール政府、企業との連携活動が評価され、同国の環境関連最高の賞である「2016 年大統領賞(環境)」を受賞した。

ロンドンで開催されたサプライチェーンにおける環境影響を考えるワークショップ (グローバルエコアクション)



2. eco 検定は、2015 年度受験者数全国 2 位。

平均合格率 87%(全国平均は毎回 50~60%)

受験のサポートとして講師を招いて、環境の最新動向を学ぶ勉強会を開催し、環境についての理解を深めている。

「eco 検定合格者(エコピープル)」及び、環境に関心のある社員に対して、環境担当役員とのダイレクトコミュニケーションを実施している。2015 年 12 月~2016 年 9 月までの間に計 8 回、合計 70 人に対し、COP21 への参加報告等、世界の環境の最新情報を共有、社員の環境ニーズの意見交換などを実施した。社員向けに「サステナビリティニュース」を定期的に発行し、世界の環境に関する潮流、自社や他社の動きについて情報を提供している。

3. 環境行動計画では、リコーグループ会社(世界)が各社最低1件ずつ社会貢献活動をしている。

2008年実績では世界の組織・事業所で600件以上の活動が展開され、結果は社長にも報告されている。すでに14年経過し、世界の組織・事業所で自主的な環境社会貢献活動が推進されている。当初は各組織での活動実践から開始、その後参加人数の拡大、現在ではステークホルダーの参加数増加を目標としている。

日本ではリコーと生産会社であるリコーエレメックスが、岐阜県恵那市で地元住民の方々と「リコーえなの森中山道里山協議会」を結成し、リコーエレメックスが保有する約40haの森の保全活動を開始。社員が地元の子供たちに自然教室を開き、また住民の方々の散策や憩いの場としての活用に役立てており、環境保全にとどまらず、次世代教育、コミュニティーの活性化・発展を支援している。

リコーえなの森(日本)で開催された生物多様性保全セミナー(環境行動計画)



関連・補足情報

- RGEA（リコーWEB）

<https://jp.ricoh.com/ecology/communication/stakeholders/ecoaction.html>

- RGEA（Facebook）

<https://www.facebook.com/Ricoh.GEA>

- 社員の意識啓蒙 ECO 検定の推進

http://jp.ricoh.com/ecology/communication/stakeholders/09_01.html

- リコーグループ生物多様性保全活動（日本）

https://jp.ricoh.com/ecology/biodiversity/contribution/02_01.html

- リコーグループ生物多様性保全活動（海外）

https://jp.ricoh.com/ecology/biodiversity/contribution/03_01.html

審査委員からの講評

同社は、環境経営は社員一人ひとりの意識や行動を高めなければ推進できない、との考えから環境人材づくりをスタート。2006 年からリコーグローバルアクション(RGEA)を開始し、意識啓発の強化を図っており、2016 年には RGEA の一環であるエコ宣言の集計から、全世界 22 万人の社員へと活動が広がっている。また、2014 年からは地球環境問題を体系的に学び、それぞれの業務・事業に活かすことを目的に eco 検定受験を推進し、過去 5 回の合格者数は 900 名を超えている。さらに、社会貢献活動の件数は国内 317 件、海外 98 件に及び、活動も多岐にわたっている。

このように、本活動はリコー本社だけでなく海外の子会社、顧客やサプライチェーンの上流から下流までなど、多くのステークホルダーを巻き込んでいる点、社員だけでなく、家族、地域、地方自治体、海外まで活動の輪を広げている点は高く評価したい。多くの企業が参考とすべき素晴らしい取り組みである。